



## 埼玉県知事賞

### おばあちゃんの未来

熊谷市立玉井小学校 五年

高橋 律樹

「水道がなく、家の外にある井戸から直接水をバケツにくみ取る。」

それを、十メートル以上運び、家の中にある『水カメ』に入れかえる。

ヒシヤクですくい上げて、飲み水や炊事洗たくなどに使っていた。

お風呂に入る時は、井戸から風呂おけまで重いバケツを、何度も何度も、運ばなくてはならないので大変だった。

水運びは、子ども達のお手伝いと言うよりも、当時の『子どもの大切な仕事』だった。「

「こんなじょうたいだから、下水しよりの考えは、全く無い。」

炊事洗たくなど使用ずみのお水は、そのまま近くの川にタレ流し。

川には、アワがうき、ニオイがひどく臭かった。『魚もすめない死んだ川』が多かった。」

ぼくは、おばあちゃんから六十年前の、この話を聞きたいへんおどろいた。

今のきれいな川があるのは、『下水しよりの

おかげ』と聞いて、またおどろいた。

そして『水のじゅんかん』の話を聞いた。

「海、川などで温められた空気が上に行き雲になる。」

雲は上空で冷やされ雪、雨になって山にふる。

山にふった、雪や雨が土の中に流れ、何十年もかかって泉となつて、わき出て来る。

それは、田畑をうるおし、飲み水として人々ののどのかわきをいやし、工業用水として、人々の生活をもつるおす。

水は川に流れ、やがて海へと続き、また雨となる。

『水は大切だ。』

よこれたままだと、海もよごれる。

使った水を人間はキレイにして海にもどすど力をしている。」

おばあちゃんの時代とちがいで、今のぼく達の生活は、水道がかんびされている。

じゃ口をひねると水が出て直せつ飲む事ができる。キレイな水だ。

お風呂に入る時は、温かいお湯が出る。洗たくの水も同じだ。

使った後の水は、下水道管を通り、何事も無かったように、ぼく達の前から消えていく。

しかし、かげでは大変な作業を行ないながら、日々ど力して水をきれいにしてくれる人達がいる事をぼくはわすれない。

ぼくは水をよごさない。

ぼくは、おばあちゃんの時代にはもどろかない。



## 埼玉県下水道協会会長賞

### 目からうろこが落ちて

羽生市立三田ヶ谷小学校 五年

岩崎 朱里

「ぼくたちがトイレに流したウンチやおしっこってどこにいつてしまうのだろう？」

不思議に思うことはあったが、それ以上真剣に考えたり、調べたりしたことはなかった。

「下水道の日」作文の募集を知って、初めて学習し始めたところ、「目からうろこが落ちる」

ようだった。下水という汚い水としか考えられなかったが、リサイクルされて、また私たちの飲料水になっていたとは、本当にびっくりした。「本当に、きれいな水になるんだ」と

思った。さっき飲んだ水が、もしかしたら数週間前には、だれかの「おしっこ」だったのかも

しれないわけだもの……。

ぼくの家は、四人家族である。毎日、千リットルもの水を使っていることになるらしい。

それは、「リットルのペットボトル五百本分」と考えると、ものすごい量だ。しかし、考えてみると、お料理やお風呂、洗濯、水洗トイレなど、確かにたくさん水を使っている。そして

使われた水は汚水として、流されている。

人間が増え、汚水も限りなく増えている現

在では、そのまま流すと汚れに強いプランクトンや細菌ばかりが増え続け、海や川では、水中の酸素がなくなってしまう環境汚染が進んでしまうという。かつて人間が少なかったころは、プランクトンや細菌の力で、十分にきれいな環境が保たれていたらしい。今、下水道のシステムが進化し、海や川の環境が守られているという仕組みがよくわかった。

でも、最も大切な事は、下水道にたよるだけでなく、みんなが水という貴重な資源を無駄にしないようにする事が必要なのだと感じた。

ぼくの住んでいる所は、田舎のせいかわ、下水道の設備ができていない。どうやって汚水が流されているのかが気になって調べてみた。雨水や生活に使われた、いろいろな水は、汚水となり、浄化そうという地下の大きなタンクに集められる。タンクの中では、特殊なバクテリアの力を借りて、汚れを分解し、きれいな上ずみだけを川に流している。沈殿した物は、バキュームカーで吸い取られる。そして「し尿センター」へ運ばれ、肥料などが作られている。インターネットで、下水道の普及率を調べてみると、普及率百パーセントの市もあって「すごい」と思った。下水道を作るのに、ものすごくたくさんの方が必要なくともわかった。しかし、いくら浄化そうの上ずみがきれいだと言っても、飲料水になるほど浄化されるわけではないだろうと思うと、ぼくの住んで

いる地いきも、「早く、下水道が完備できるといいなあ」と思った。海や川の生き物たちのためにも。



入選

### 下水道の役割

ふじみ野市立福岡小学校 五年

植村 凜乃

いつもは、目にする事の無い下水道。でも下水道は、見えないところで私たちの安全安心、かいてきな生活を支えています。下水道の役割は、主に四つあります。

第一は、街を清潔にすることです。私たちが家庭で使ったよごれた水は家の下にあるはい水管を通して下水道管に流れていき、下しよ理場に運ばれていきます。下水道が整備されることで、お水が直接街に流れなくなるため街が清潔に保たれ害虫や悪臭を防ぐことができます。

第二は、街をしん水から守ることです。ここ数年「ゲリラごう雨」の発生が増えて短時間に大量の雨がふることが多くなってきています。街に雨水がたまり水びだしにならないように下水道は、はい水してくれます。

第三は、身近なかんきょうを守ることです。

街や工場から下水道を流れてきたお水は、下しよ理場に運ばれます。そこでさまざまなしよ理を行ってきれいになった水は、消どくして川や海に流しもどします。

第四は、エネルギー・しげんをつくることです。下水しよ理場では、お水をきれいにしよ理するだけでなくきれいになった水を再生水として利用したり、下水しよ理のかいで発生したバイオガスを燃料やガスとして利用します。また、下水おでいからリンを回しゅうしてひ料を作ったりなどエネルギーしげんをつくり出しています。

私のお母さんが小さいころは家に下水道が無くて、家から出るお水は、土の中にうまったじよう化そうという大きなタンクの中のためにいたそうです。そして、定期的に、そのお水を回しゅうにきてもらっていたそうです。下水道が整備されてからは、直接お水を流すことができ、とても清潔になったそうです。そう考えると、下水道はとても大切なものだと思います。

現在の私の家も下水道が整備されていて雨水が流れなかったり、トイレの下水が流れなかったりという事はなく毎日かいてきに生活できています。下水が下水道を流れていることを直接見たことはありませんが、庭のフタのあるところを流れているとお母さんから聞いたので今後は、



「ああ、ここに下水が流れているんだなあ。」と意識して感しゃして生活していきたいと思えます。

また大雨の時、私の家の前の道路は雨水がたまってしまふことがあります。しかし、時間がたつとその雨水は、下水に流れていきます。もしこの雨水が下水に流れなかつたら、道路は、水びたしのままで自動車も人間も通ることができなくなつてしまいます。下水道のおかげで、この様なきけんも防ぐことができます。

私たちの毎日の生活の中で、下水道は大活やくして、無くてはならない存在なのです。



## 大切な下水道

熊谷市立玉井小学校 六年

鍛冶 愛咲美

私は、下水道という言葉聞いて一番に思いつくのは「汚い」というイメージです。お風呂で体を洗つた水や汚れたお皿を洗つた後の水が流れている所つて考えてしまふと汚いという感想しか出てきませんでした。

下水道の日の作品コンクールに参加する事になつた私は何も考えが浮かばなくて困つて

しまい、お母さんに相談しました。

「下水道つて汚れた水が流れているだけでしょ。」

と聞いたらお母さんは、

「汚れた水をキレイな水に変えるために下水道があるんだよ。汚れた水をただ流しているだけじゃないんだよ。」と言われて驚きました。

「汚れた水をただ流してたら地球全部がドロになつちゃうでしょ。そうならないために下水道で汚れた水をまとめてキレイにしているんだよ。」

そう言われて下水道は汚いとは思つていなかった自分が恥ずかしくなりました。

お母さんの話を聞いてから私は下水道への考え方が変わりました。もし水道から石けんが混ざつた水が出たりしたら、その水を飲むことはできなくなつてしまいます。手や顔を洗つた時にはキレイに洗い流すことができないとヌルヌルしたまま友達と手をつないだりしなきゃいけない。下水道がなくなつたらそんな世界になつてしまふかもしれない。そう考えたらとても怖くなり下水道がどんなに大切なものなのか、私達の生活にとつてなくてはならないものなんだと強く思いました。

下水道の事が気になつて調べてみたらおもしろいことが分かりました。石や砂などの大きなゴミはゆっくり流す事で下にしずつんで

まいます。ですが目に見えない小さなゴミや汚れをキレイにしてくれるのは「微生物」だったのです。ポルティセラ(つりがね虫)、マクロビオッス(くまむし)、アルケラ、アエオロソマという微生物達が汚れた水に含まれる小さなゴミを食べて汚水をキレイにしてくれています。私は水をキレイにする方法はろ過装置のようなものでキレイにしていると思つていましたが、今回調べてみて微生物がキレイにしてくれていると分かり、とても驚きました。下水道と微生物は私達の見えないところでずっと大切な役割をしてくれているんだと思ひ、私は今までの考えを深く反省しました。

私達は生きていく中でたくさん水を使つて汚してしまいます。でも汚れた水をそのまま川や海に流したらどんな世界になるか、どんな未来になるかは簡単に想像できません。私はそんな未来で生活したくないし、汚れた水を未来に残したくないので、キレイな水を未来まで残すためには下水道の力に頼らないといけないですね。だから私達はもっと下水道を大切に思ひ、汚れた水を知らんぷりしてはいけないんだと思ひます。

下水道は私達の生活、未来を地下で支える「縁の下の力持ち」ということを忘れないように「ありがと」と感謝の気持ちをもつて生活していこうと思ひます。